



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6090 URL <https://humanmetabolome.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CFO (氏名) 大畑 恭宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長兼CFO (氏名) 大畑 恭宏 TEL 03-3551-2180  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,107	△12.6	208	△41.1	209	△38.8	165	△45.6
2025年6月期第3四半期	1,266	13.5	353	40.5	342	36.0	304	33.2

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 169百万円 (△43.5%) 2025年6月期第3四半期 300百万円 (30.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	29.35	—
2025年6月期第3四半期	51.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	2,287	1,884	82.4
2025年6月期	2,374	1,908	79.6

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 1,884百万円 2025年6月期 1,890百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期（予想）				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,420	△2.4	210	△15.8	210	△12.9	200	△22.0	35.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※業績予想の修正については、本日（2026年5月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	5,919,797株	2025年6月期	5,919,797株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	356,118株	2025年6月期	227,644株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	5,644,767株	2025年6月期3Q	5,907,214株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は、決算発表後遅滞なくTDnetで開示するとともに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8
3. 補足情報 .....	8
サービス別販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調にありますが、物価上昇、米国の通商政策等の影響や日米の金融政策の変更、中東地域を中心とした地政学的リスクなどに伴い、内外経済が下振れするリスクがあることから、引き続き先行きの不透明な状況が続くことが見込まれます。

当社グループが属するライフサイエンス業界では、健康管理へのニーズの高まりを受けた研究開発の増加傾向が継続しています。またバイオエコノミー推進政策によるバイオものづくり関連の研究開発も増加が見込まれています。

このような状況の中、当社グループではライフサイエンス研究支援サービス、機能性素材開発支援サービスに加えて、バイオものづくり支援サービスの提供を開始し、受注拡大に向けた活動を行いました。研究開発においては、バイオものづくり支援サービス向けの開発を継続するとともに、新規事業の開発にも取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,107,192千円（前年同期比12.6%減）と減少いたしました。

サービス別には、バイオものづくり支援サービスは7月の上市後好調に受注が推移し、すでに年間売上目標の1億円を達成することができました。一方で機能性素材開発支援サービスは、第4四半期に大型臨床試験に伴う売上が予定されているため、第3四半期は前年売上を下回る結果となりました。またライフサイエンス研究支援サービスは、国内アカデミア分野での大型案件が減少したことから大幅に減少しました。海外売上も引き続き低調な状況で推移しております。

分野別には、以下のように推移いたしました。

- ・アカデミア分野は、第3四半期には昨年と比較して大型案件がなかったために112,315千円売上が減少しました。
- ・製薬企業分野は、ライフサイエンス研究支援での大型案件の売上が計上できたこと、バイオものづくり支援サービスによる増加などにより分野全体でも24,262千円売上が増加いたしました。
- ・食品分野は、バイオものづくり支援サービスでの売上増がありましたが、機能性素材開発支援サービスとライフサイエンス研究支援サービスで大型試験の端境期となったため売上が減少したことなどにより、全体では26,731千円売上が減少いたしました。
- ・化学企業その他では、バイオものづくり支援サービスで売上が増加しましたが、機能性素材開発支援サービスでCRO経由の売上が減少した結果、全体としては44,281千円売上が減少いたしました。

売上原価は売上減少に伴い、提携サービス仕入が減少いたしました。販売費及び一般管理費は、賃上げ等による人件費増はありましたが、主に共同研究が終了したことなどに伴う開発費用が減少した結果、前年同期とほぼ同額となりました。

この結果、売上総利益は699,729千円（前年同期比17.4%減）となり、営業利益は208,670千円（前年同期比41.1%減）、経常利益は209,489千円（前年同期比38.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、165,716千円（前年同期比45.6%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「先端研究開発支援事業」及び「ヘルスケア・ソリューション事業」の2セグメントから、「メタボローム解析受託サービス事業」の単一セグメントに変更しております。詳細は、「2. 注記事項（セグメント情報等の注記）」の「（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,828,188千円となり、前連結会計年度末に比べ36,619千円減少しました。これは、第3四半期連結会計期間に売上が集中することにより売掛金が119,317千円増加しましたが、賞与支給及び法人税の納付、未払金の支払による支出等により現金及び預金が106,298千円減少、前払費用の償却等によりその他流動資産が48,817千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は458,977千円となり、前連結会計年度末に比べ50,821千円減少しました。これは最新の測定機器の導入に伴い工具、器具及び備品が34,957千円、建物及び構築物が6,476千円増加しましたが、契約期間が満了となったことでリース資産が43,543千円減少、減価償却費計上による33,799千円減少、繰延税金資産が賞与支給、税引前当期純利益見込みの修正等による取崩により24,992千円減少したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は386,464千円となり、前連結会計年度末に比べ63,478千円減少しました。これは買掛金が22,008千円、未払法人税等が12,750千円増加しましたが、未払金が72,612千円、賞与引当金が23,973千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は16,444千円となり、前連結会計年度末に比べ377千円増加しました。これは、為替変動により米国子会社のリース債務が359千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,884,257千円となり、前連結会計年度末に比べ24,339千円減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益165,716千円を計上しましたが、自己株式の取得90,807千円、配当金85,382千円の支払い、満期償還により新株予約権が17,993千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正については、本日（2026年5月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,562,417	1,456,118
売掛金	175,281	294,598
商品	18,144	13,175
仕掛品	22,107	26,389
原材料及び貯蔵品	10,901	11,195
その他	80,052	31,235
貸倒引当金	△4,098	△4,524
流動資産合計	1,864,807	1,828,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,597	78,074
工具、器具及び備品	734,540	769,498
リース資産	57,660	14,117
建設仮勘定	1,292	1,520
減価償却累計額	△580,138	△613,938
有形固定資産合計	284,952	249,272
無形固定資産		
	12,810	22,650
投資その他の資産		
投資有価証券	49,980	49,980
繰延税金資産	157,021	132,028
破産更生債権等	9,746	9,746
その他	5,034	5,045
貸倒引当金	△9,746	△9,746
投資その他の資産合計	212,036	187,054
固定資産合計	509,799	458,977
資産合計	2,374,607	2,287,165

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,860	25,869
短期借入金	100,000	100,000
リース債務	7,011	1,245
未払金	97,802	25,189
未払法人税等	16,405	29,156
賞与引当金	89,257	65,283
その他	135,605	139,719
流動負債合計	449,943	386,464
固定負債		
リース債務	3,457	3,817
資産除去債務	12,609	12,626
固定負債合計	16,066	16,444
負債合計	466,009	402,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,488,979	1,488,979
資本剰余金	7,378	7,267
利益剰余金	585,003	665,337
自己株式	△166,586	△257,393
株主資本合計	1,914,775	1,904,190
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△24,171	△19,933
その他の包括利益累計額合計	△24,171	△19,933
新株予約権	17,993	—
純資産合計	1,908,597	1,884,257
負債純資産合計	2,374,607	2,287,165

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,266,376	1,107,192
売上原価	419,301	407,463
売上総利益	847,075	699,729
販売費及び一般管理費	493,087	491,058
営業利益	353,988	208,670
営業外収益		
受取利息及び配当金	880	2,759
その他	228	479
営業外収益合計	1,109	3,239
営業外費用		
支払利息	2,034	1,488
為替差損	10,018	—
株式交付費	561	—
自己株式取得費用	—	925
その他	9	6
営業外費用合計	12,624	2,420
経常利益	342,472	209,489
特別利益		
新株予約権戻入益	25,083	17,993
特別利益合計	25,083	17,993
税金等調整前四半期純利益	367,555	227,483
法人税、住民税及び事業税	55,993	36,774
法人税等調整額	7,189	24,992
法人税等合計	63,182	61,766
四半期純利益	304,372	165,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,372	165,716

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	304,372	165,716
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,402	4,238
その他の包括利益合計	△3,402	4,238
四半期包括利益	300,970	169,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,970	169,954
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	75,159千円	83,204千円

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

「当第3四半期連結累計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2026年3月31日）

当社グループは、メタボローム解析受託サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「先端研究開発支援事業」及び「ヘルスケア・ソリューション事業」の2セグメントから、「メタボローム解析受託サービス事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、当社グループの事業展開、経営資源配分等の意思決定のプロセスや実態を考慮した結果、「メタボローム解析受託サービス事業」として統合した単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更により当社グループの今後の成長加速において、限られたリソースをより機動的かつ有機的に活用し、集中的に戦略領域に投下することで効率的な研究開発投資を行いつつ、新規事業を確実に立上げ、高付加価値事業を拡大していくことで企業価値の向上につなげてまいります。

なお、この変更により、当社グループは「メタボローム解析受託サービス事業」の単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

サービス別販売の状況

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

種類	前第3四半期連結会計期間	当第3四半期連結会計期間	増減率
ライフサイエンス研究支援サービス	994,606千円	771,143千円	△22.5%
機能性素材開発支援サービス	271,770千円	228,091千円	△16.1%
バイオものづくり支援サービス	—	107,957千円	—
合計	1,266,376千円	1,107,192千円	△12.6%